

## 活動交付金の過去の実施状況一覧表（H24～R5）

地区名	活動名	活動概要
富岡南	防災対策事業	市から配布されている緊急ラジオと地区集会所にある放送施設とを接続し、地域内に緊急放送が流れるようにする。その放送を利用した避難訓練を実施することで、実際の災害発生時にどのように情報が伝わるか、さらに混乱状態の地域住民に避難経路を伝えることが出来るかを検証し、非常事態に備える。
笠岡	地域の危険箇所調査及び危険箇所の改善対策事業	地区住民で身近な危険箇所を洗い出し周知するとともに、危険箇所を整備することで、地域の安全対策を図る。
番町	ふれあい夏まつり事業	H24：笠岡市制60周年・番町夏まつり40回の記念大会として、まちづくり協議会の活動を広く認識してもらうため、昭和48年より番町コミュニティ推進協議会が行っていた「ふれあい夏まつり」を合同事業として実施する。 H26-：「新番町音頭」を披露し、多くの住民に周知させる。
	ふるさと音頭の普及事業	まちづくり協議会で作成した「新番町音頭」の、啓蒙活動を行い普及推進を図り、地区内の活性化を推進する。
	地域花いっぱい事業、地域の環境美化事業	地区内の幹線道路に設置してある花壇やプランターに花を植えたり、ゴミ収集等の美化に努め、地域に彩を添え、ゴミのポイ捨てを防止し、地域住民の心が癒される環境づくりを図る。
	おとなの習い事	地区の大人たちが集まり、習い事をおとして地区住民の連帯感を醸成し、だれもが暮らしやすい地域になることを目指す。
	健康増進活動	週1、地区民の交流の場として講師を招いてストレッチをおこなう。
	楽しく学べる防災教室	地震の発生を想定し、町内会単位で避難訓練を実施。さらに、救急救命体験・避難生活体験・救助体験・避難場所見学消防団デモンストラーション・炊出し体験を行い、防災意識の向上を図る。 H31：各町内会での避難マップ及びマニュアルの作成、防災ビデオ及び海拔表示シートの刷新を行う。
今井	防災対策事業	地域住民の連携・協力により、自主防災組織の設置を促進し、防災救援訓練を行うことにより防災対策を推進する。
	休耕地対策 あなたはどっち！ 紅じゅうたんor白じゅうたん	課題として浮上した休耕地対策としてそば栽培を柱に有効活用を行う。景観を楽しみ、収穫物によって食を味わい、住民の集う場とすることで、地域が住みやすく誇りが持てることを目的とする。具体的には、土地の開墾・土壌づくり、紅そば・玄そばの栽培、もち麦の栽培、ホップの栽培、収穫物の加工・販売調査、報告会活動、試食会開催等を予定。
	地域集う場づくり・オープンカフェで楽しもう！	地域住民の健康及びふれあいの場づくりを行うことを目的に、拠点施設における百歳体操の実施やオープンカフェの開設を行う。
	花いっぱい事業	住みよい町となるよう道路沿いの空き地や公共施設に花壇を整備し、四季の花を植栽する。
	今井イノコミプロジェクト	イノシシ駆除プロジェクトを立ち上げ、今井全域への箱罠設置を行う。一部シビエとして活用。オープンカフェで食開発を目指す。このプロジェクトを主とした夏収穫祭を企画。
金浦	金浦公民館歴史研究会で冊子の編纂	金浦各地区の史跡マップとそれにまつわる史跡とお宝や南海地震の記録、ワークショップの記録等を整備することで、地域の子どもたちを中心に故郷に対する愛着心を育む。
	広報誌発行	広報誌（年2回発行）により、まちづくり活動の周知を図る。
	買い物支援事業	交通手段を持たない高齢者にタクシーを利用した買い物支援を実施。袖解地区～市内スーパーマーケット
	ふるさと再発見と健康ウォーク、ふれあい事業	歴史的経緯のある「大見山」の登山道を開発し、整備を行うとともに、史跡巡りが行える散策ガイドマップを作成する。ふるさと再発見をテーマにした散策や登山を実施し、地域住民の健康増進を図る。登山道の活用と維持管理、郷土史編さん等を実施し、地域を再発見し、歴史文化を知って、地域住民のふれあいと交流を図る。
城見	ふれあい事業	H27：大見山登山道の活用と維持管理、既存施設を活用した高齢者の生きがい増進活動、子どもの遊び場を提供する子育て支援活動を実施し、地域住民のふれあいと交流を図る。 H28：①地域の高齢者の健康寿命延伸のため、サロン活動や百歳体操を実施する。②地域への愛着心を養うため、城見郷土史を編纂し、住民に読んでもらう。 H29：百歳体操・いきいきサロン・高齢者買い物支援・大見山登山・公民館の活動支援、子どもとの交流・ふれあい活動 H30：高齢者の健康維持と子どもたちの健全育成、地域への愛着心を育むための取組み（百歳体操、高齢者見守り活動・買い物支援、子どもとの交流（稲刈り体験、ユニカール大会）、地域お助け隊活動、公民館との連携）を行う。

地区名	活動名	活動概要
城見	ゼロ災活動、安全安心事業	地域住民の安全安心意識を高める。 H24：基礎となる機器・備品の整備、宣伝と活動しやすい組織作り。 H25：地域内パトロールや消火訓練の実施、ハザードマップの作成。 H26：安全安心パトロールの実施、各自治会単位の地区の実情に合致した自主防火訓練、自然災害避難訓練の実施。
	安全・安心事業	地域の安全確保と減災体制の整備、地域住民の災害に対する意識を高めるための活動を実施する。 H27：交通危険箇所の調査と対策、防犯防災パトロール、防災訓練（避難、消防） H28：避難・消火・救命訓練、防災キャンプ、登下校の見守り活動 H29：避難所開設机上訓練、避難・消火・救命訓練、登下校の見守り活動、用水路転落防止会議、地域の安全対策会議 H30：地域内の安全・安心を確保していくための取組み（登下校見守り活動、地域内安全対策会議、避難訓練等）を行う。 R4:地区別に避難訓練実施。減災成功例講演、通学路点検パトロール、「インターネットSNSの使い方・使わせ方」親子セミナー開催。 R5：「我が家の防災計画」のフォーマットを示し、各世帯に防災計画作成呼び掛け、防災イベント、小学校通学路点検パトロール、「インターネット・SNSの使い方・使わせ方」親子セミナー実施
	消火訓練	地域住民、特に高齢者や女性における防火意識を高めることを目的に、初期消火訓練とそれに必要な備品の点検・整備を行う。
	イノシシ被害対策	イノシシによる農作物への被害抑制と、イノシシから小中学生を守ることを目的に、地域全体で学習会を行ったり、実態把握、注意喚起、草刈り整備を行うほか、駆除のための体制づくりについても検討を行う。捕獲わなの設置と管理。
	高齢者買い物支援	月2回タクシーを手配し、車が運転できない等で買い物のための交通手段がない高齢者が買い物を楽しめるよう支援する。
	高齢者支援・見守り活動	月1回、お弁当などを独居の高齢者に配達し、見守り活動を行う。
	花いっぱい運動	道路沿いや公共施設の花壇に花を植えることで景観、住環境の改善につなげる。
	大見山登山道整備	大見山登山道（2ルート）普及、頂上草刈り、新年登山イベント
陶山	観光開発活動	H24-26：地域に残る文化・歴史・伝統を検証して冊子やパンフレットなどを作成し、史跡には説明看板の整備を行うなどで、広く陶山の良さをPRする。来訪者の休憩所として田舎カフェを設置するなどして、地域外からの観光客へのおもてなしを行う。 H28：地区の観光名所である神之峰への来訪者増加を図るため、案内板設置や草刈り実施等により、登山ルートを整備する。 H29：登山ルートの整備、神之峰登山の頂上に山や景観に関して自由に記載してもらおうノートを設置。不定期でアンケートを実施。 H30：観光資源の増進維持を目的に、神之峰登山ルートの草刈り・樹木伐採、手すり設置等整備、頂上の案内板・ガイドマップ・記帳ノートの設置、初日の出等の行事開催等の活動を行う。 H31：登山ルートの草刈り等整備、山頂における案内板等設置、登山者へのアンケート設置、神之峰探訪ルートガイドマップ作成、田舎カフェ開催を行う。 R3：登山ルートの草刈り等整備、補修コンクリート打ち。頂上にガイドマップ、各所案内を設置。自由に記入してもらおうノートを設置。初日の出登山者に甘酒等接待。田舎のカフェ開催。 R4:登山ルートの整備、頂上に各所案内、ガイドマップ設置。田舎のカフェ開催。初日の出登山者に甘酒接待
	特産品開発活動	民芸品、食品等の既存の特産品の改良を含め、実施体制部門別の試作品を基に特産品の研究開発を行う。地域の物産を活用した物産品をブランド化して、地域の活力と働く場所づくりを推進する。
	陶山ふれあい青空市	地域の特産品を地域内外にアピールしていくため、毎月1回青空市を開催する。
	ふるさと民話及びふるさと音頭の普及	子ども会、老人会などで陶山の民話を語る会合を開催し発表する。陶山ぼっけー音頭のCD化と、振付の見直しをして、地区民全員で歌い踊れるように普及啓発する。
	植木鉢リサイクル運動	各家庭で不要となった植木鉢を寄付してもらい、花の育苗は「ときわ学園」へ依頼する。植え付け作業は地元住民が実施し、販売は拠点事務所及び青空市で行い、地域の環境美化を図る。
	陶山地区制服リサイクル市	親の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境構築を図るため、学校を卒業して不要となった学生服を再利用するシステムづくりを行う。
	ホームページ開設活動	ホームページ用のパソコンを導入し、ホームページを開設して、地域の情報発信の拠点とする。
	地域ふれあい活動	地域住民の活躍の場を創出し、地域への愛着心をはぐくみ、持続的な地域活動の活性化を図るため、納涼祭・マラソン大会等を公民館と共催する。 R5：納涼祭開催

地区名	活動名	活動概要
陶山	陶山子どもふろしき市	子ども会が自分のおもちゃや作品に自ら値段をつけ、ふろしき程度のスペースで工夫を凝らして商品を売ることで、物を大切にすることを学ぶことに寄与する。
	陶山子ども遊び場プロジェクト	子どもたちが、夏休みに陶山公民館にて地区の住民に昔遊びを教えてもらうなどして三世代交流に繋げる。あわせて子ども食堂を実施し、大勢で食事をする楽しさを共有する。
	健康増進活動	ふれあい広場の草刈り等整備を行い、グランドゴルフしやすい環境を整備する。また、グランドゴルフを通して健康増進に努めるとともに、下校中の子どもたちへの声かけも行う。
	花いっぱい運動の推進	県道沿いに花を植え、景観維持とゴミのポイ捨て防止を図る。
	いきいき百歳体操の普及	毎週1回、篠坂集会所において「いきいき百歳体操」を実施することで、筋力強化を図り、いつまでも元気で介護の必要ない生活を目指す。
	地域の安全推進活動	地区住民、特に高齢者や子供たちが安全で安心して暮らせる地域づくりを目的に、地区内の防犯パトロール、危険個所の調査、啓発看板の設置、注意表示板、危険マップ作りを行う。
	子ども体験交流活動	地区の子どもと住民がふれあいを深めることを目的に、キャンプ、ウォークラリー、わら細工づくり、とんど集会等の行事を企画・実施する。
	広報紙発行活動	広報紙を年3回全戸配布することで、まちづくり協議会への関心及び参加を促す。
	有害鳥獣対策活動	罠を設置し、イノシシを捕獲する。防護柵設置の手助けを行う。
	観光開発活動	神之峰登山ルート整備、登山者への情報提供、らくがき帳設置、鯉のぼり設置、田舎のカフェ、初日の出接待
大井	ふれあいテント整備事業	大井地区住民のふれあいと交流の場として、テント・テーブル・椅子を設営し、ゆっくりと世間話などできる環境と人間関係づくりに努める。
	無災害活動	春・秋の交通安全及び火災予防運動、防災月間、年末夜警を中心に、1年を通じて啓蒙活動を展開することで安全で安心な地域づくりを目指す。
	えひめA1-2の普及、促進活動事業	家庭排水などの水質改善のために、えひめA1-2を培養・製作し、地区住民に普及させ利用促進を図る。河川やため池の水質改善により、農作物などの資質向上を図ることで、安全で快適な生活環境整備を推進する。
	ほたる舞う清流保全事業	吉田川にほたるの生息する自然環境を保つため、えひめA1-2等の作成・配布等を行う。
	「ほっと」な居場所づくり事業	幅広く各種行事の会場として利用されている大井グランド内の安全な場所に、利用者の健康管理と情報交換の居場所として、住民の手により東屋を設置する。
	大井草刈り支援事業	農地等を自力で草刈り等できない所有者の要望を受け、草刈りを行う。
	「ひだまりカフェ」参加者支援事業	認知症にやさしいまちづくりを実現するため、地区内で開催されている「ひだまりカフェ」への参加促進を行う。
花いっぱい運動支援事業	秋に、地区内の花壇に花を植栽する。	
大井南	町内周回花壇の再生・維持事業	町内にある花壇を維持管理するため、「花壇の里親」を町内全体から募る。花壇の里親には花、樹木、肥料等を支援し花壇の管理をお願いし、町内環境の良好な雰囲気維持増進を図る。
	安全安心機能の保持・強化事業	地域内の安全安心設備を点検し整備することで、地域住民の安全安心意識の向上を図る。
	高齢者協賛活動	サロン活動、百歳体操、ペタンク、グランドゴルフ協賛
吉田	道路花壇の維持による環境美化	地区内の4箇所の花壇で年2～3回花の苗を植え、水やりや草取りなど花壇の維持管理を行う。
	吉田マッププロジェクト	文化史跡や見所を広く知らせ、避難場所も表示した役立つマップを作成する。
新山	新山食堂	H24-28：昼ご飯をみんなで食すという手段で、地域内の子育て世代から高齢者までが集える交流の場「地域のお茶の間」を運営する。地域が一体となって「新山まるごと一つの家族」となることを目標に実施していく。 H29：これまでの取り組みに加え、健康寿命に関心を持ってもらうために、市と協働で健康教室を実施。 H30-：これまでの取り組みに加え、血圧計を置き、食後自由に測定し、近隣友人同士で健康について話をする。 R3：コロナの流行のため、テイクアウトでの提供で月1実施。
	「ほっ」と居場所づくり	子育て世代から高齢者までが気軽に自由に集える場の管理運営を行う。
	新山自治会報紙（広報紙）発刊事業	広報紙の作成のための機器を導入し、毎月広報紙を全戸配布することで、まちづくりの啓発に努める。 R4:毎月1回、新山自治会報を発行。
	視察研修	まちづくり先進地の視察研修を行い、その映像等を地区の研修に活用するなど、地域の課題を地域住民自らの手で解決する手法を学び、住民の意識の向上を図る。

地区名	活動名	活動概要
新山	にいやま草刈り隊「新栄会」	休耕田や空き家が年々増加する中、地域内の草刈りを請け負い、地域の環境整備・防犯・防火を図る。休耕田や家の周りだけでなく、公共施設や地区内の名所などの草刈りも行いながら、草刈り以外にも様々な生活環境向上の活動も行う。
	井笠鉄道記念館まつり	井笠鉄道記念館を地区内外へ地元の観光名所として魅力発信するため、ミニSL乗車や井笠鉄道の懐かしい写真展示等を行うイベントを開催する。
	はと麦味噌の製造・販売	H29：30年前から新山で伝えられてきた秘伝の防腐剤添加物なしの「はと麦味噌」づくりの復活。 H30：現在実施しているはと麦味噌の製造販売については反響が大きく、売切れ状態で製造が追いつかないため、より効率よく製造できるよう発酵器の増設と製造場所の拡張を行う。 H31：需要増加に対応することを目的に、棚・貯蔵庫・エアコン等の必要な施設整備を行う。 R3：はと麦・大豆の生産にも挑戦し、「笠岡ブランド」を目指す。
	「新山ふるさとかるた」制作	小中学校の児童生徒に新山の「かるた」を作成してもらい、住民でかるた大会を開催する。完成後は地区内の小中学校や各種団体へ貸出しも行う。
	古民家を活用した地域活性化事業	貴重な古民家、土倉屋敷を使って、新山の特産品や手作りしたものなどの販売をし、人を呼び込むことで、地域の活性化を図る。
	庄屋屋敷とくらで学ぶ	地元が所有する古民家「土倉邸」を有効に活用するため、①食品衛生及び健康増進に関する講座、②医療相談、③農業体験をそれぞれ企画・開催する。
	にいやま草刈り隊「新栄会」	草刈り隊が家の周りや、耕作放棄地、空き家の草刈りを請け負う。
	花の植栽事業	季節の花をプランターに植え、花の塔や井笠鉄道記念館に飾る。
北川	農業体験活動（水田・いも畑）事業	H24：もみの播種-田植え-水あて（水車）-ひえ切り-稲刈り-天日干し-脱穀-もちつき-とんど-感謝祭といった一連の流れを体験させることで、農作物の成長や農機具の役割も周知し、食に対する感謝の気持ちを育む。 H28-31：小学生らに食べ物の大切さ、先人の苦勞を教え、世代間交流を行うために、地域の農業者と一緒に米と芋の栽培を行う。
	空きかん・ごみ一斉清掃	地域内を全住民で一斉清掃し、地域の環境保全に努める。
	環境保全活動（花壇・ゴミ清掃）事業	地域内の花壇に花を植栽し、清掃活動を行うことで、地域住民の心に潤いを持たせて安らぎを与える。子どもから高齢者まで多くの地域住民が集って行うことで、世代間のつながりや一体感及び地域愛を育てていく。
	淡水生物保護活動	減少しつつある生物を保護するために看板を作成し、希少生物の保護に寄与する。
	北川の史跡ガイドブック	既存のガイドマップと北川の史跡調査の結果をまとめたガイドブックを作成し、北川の歴史探訪と史跡保存、学童への地域学習教材として活用していく。
	遊具の点検	地区内の子どもの遊具の点検を行い、子どもたちの安全を確保する。
	「北川の人物」発行	北川地区にゆかりがあり貢献された先人の功績を調査し、冊子にまとめ、子孫に語り継いでいく。
	環境整備「草刈り隊」	今までそれぞれの町内会等で草刈りを行っていた場所を対象に、高齢化でできなくなっている公共的なところの草刈りを行う。
	「まちづくり北川号」運行	高齢者の生活を応援し安心して暮らせるよう、高齢者で運転免許がなく病院や買い物に行くことが困難な地域住民を対象に、地域の車両「まちづくり北川号」を使って無償運送の試験運行を行う。
	ニュースポーツ講習会	住民にスポーツの楽しさに触れながら、交流を深めてもらうことを目的に、講師から教わりながら取り組む。
	北川昔あそび祭り及び行事食を学ぶ活動・子どもふれあい事業	地域に住む高齢者から子ども達へ昔ながらの遊びや行事食を伝え、一緒に遊び、学ぶことにより世代を超えたふれあい交流を図る。
	盆踊りの伝承活動	北川に伝わる盆踊りのDVDを作成し、正しい踊り方等を住民に伝承する。そして運動会、納涼祭等で披露していく。
	茅原船長を顕彰する事業	ロシア革命後、難民の子どもたちを保護した茅原船長の偉業を讃え、地域の方に広く知ってもらうために、茅原船長のお墓の近くに顕彰碑の建立し、毎年せしも二や講演会を開催する。また、学校の授業で取り上げてもらい、地域の偉人を知ってもらうとともに、その精神を受け継いでくれる人材を育てる。

地区名	活動名	活動概要
北川	地域の安全安心推進活動	毎週2回昼と夜の巡回活動に加え、スピードを出して通り抜ける車に安全運転を呼びかけるために、「生活道路につきスピードは控えめにご通行ください」の看板を立てて、地域の安全安心を推進する。看板を立てる場所は、巡回活動の中で危険箇所のチェックを行い危険度の高い所から設置していく。子ども見守り隊。
	広報・地域計画事業	北川まちづくりだよりを発行し全戸配付。まちづくり活動を知らせる。また、地域計画を策定する。
大島	山林の樹木伐採と土地造成整備事業	大島中の東部地区に広場がないため、雑木が繁茂した土地を借り受け、樹木を伐採し多目的広場を整備新設する。老若男女が参加できる生涯スポーツなどを行えるコミュニティの場として活用する。
	耕作放棄地再生事業 (ふれあい農園・協働耕作)	耕作放棄地を再生して、耕作したい人を募集し、技術指導と資材提供等を行ったり、農業体験学習の場として利用する。大豆やそばなどを地域でつくることのできる環境を整備し経営する。また収穫した作物で収穫祭を実施し、自然の恵に対する感謝と感動を与え、生活環境の保全に寄与する。
	花街道づくり事業	地域内の花壇等を利用して植栽を行って花街道整備を推進する。地域のニーズに合わせて年次的に整備し、景観と環境保全を図る。
	お宝探しと健康ウォーキング事業、健康講座・体操指導	地域のウォーキング事業と合わせて住民の目で地域のお宝を探しを行い「ふるさと再発見」の機会とする。また、健康講座やウォーキング、体操によって介護予防の促進を図る。
	大島花の名所づくり事業	桜、梅、水仙等の花の名所づくりを行う。桜は現存の中から公募により10選し指定する。梅は遊休地を利用して植栽する。水仙は管理して株分け等で増植拡張を行うことで、花のあふれる地域にしていく。
	ふれあいマーケット開設準備事業、ふれあいマーケット運営事業	地域住民が耕作放棄地再生で収穫した物産を販売できるマーケットを設立し運営することで、住民の生きがい対策に寄与する。
	海の見えるテラス開設準備事業	拠点施設のテラスを開放し、「海の見えるテラス」として運営することで、老若男女が集い、交流のできる場として、また、独居老人の安否確認のできる場として役立てる。
	史跡マップ作成	地域住民をはじめ歴史に造詣の深い方が大島歴史散歩を楽しむコースを西大島・大島中・正頭等に分けて研究されている。名所・旧跡の写真入りの解説書も監修段階に入っている。そこで史跡マップを発行し、大島88か所や33観音巡りも合わせて健康ウォーキングと兼ねて行う。
	青佐山案内地図板・道標案内板・史跡説明板設置	青佐山の登山口2ヶ所へ登山経路を示した地図表示板を設置し、登山途上各所に道標として小さな案内板を設置する。また、楽しく登山できるように史跡説明板を設置する。
	観光振興と地域活性化事業	大島の名所旧跡など歴史文化を再認識し次世代に継承する冊子「大島歴史散歩」を発行する。また、冊子を活用したウォーキング大会の実施や地域外へ情報発信により観光振興と地域活性化を図る。そして、小学校の副読本として学校関係者等と協働で「大島の伝説と民話」を発行し、子どもたちへ地域の歴史文化を継承する。
	大島地域力復活事業	H27：トレッキング、ウォーキングをされる方の休憩場、来訪者への接待の場として、地域にある古民家を利用してふれあいの場とする。また、山陽学園大学と協働で地域の特産品の開発を行う。 H28：観光開発及び地域内外の住民のふれあいの場づくりのために、①地元魚等を利用した特産品の開発②トレッキングコース整備③納涼祭等の開催。 H29：イベント案内「故郷便り」の送付、ゲストハウスの運用の検討②子育て支援の場の提供③特産品開発④定住促進、体験ツアーの実施⑤トレッキングコース等の整備⑥地域住民や近隣市町、山陽学園大学生との交流
	大島地域力活性化促進事業	地域資源の有効活用により交流人口増を図り、定住促進につなげるために、①農漁業の体験ツアーイベントの開発②未利用魚を活用した郷土料理や特産品の開発や販売③御嶽山・青佐山の観光資源の保全等を行う。
	岡山県指定重要無形民俗文化財の保存と継承事業	地域の伝統芸能である「大島の傘踊り」の衣装を作成し、地域の納涼祭等で披露するなど、大島傘踊り保存会と協働して保存継承活動を行う。
	大島観光名所マップの作成とサミット開催事業	地域の文化遺産と観光資源をPRするために地域巡りマップを作成する。マップ等を用いて歴史研究会議を山陽学園大学や歴史研究愛好家と一緒に開催し、大島の名所を啓発する。
“大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の観光・文化財	現地の調査、写真撮り、史実・伝承調査→まとめて冊子に。 地域の人々に大島再発見の趣旨説明会を行う。 R5：文化財等位置看板設置、HP「大島ぶらりガイド」のデータ追加、修正 文化財を巡るウォーキング大会開催	

地区名	活動名	活動概要
大島	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー	関係人口を増やすために、借りた空き家でクラフト・竹細工の体験教室を開催する。それと並行して従来からの定置網見学体験とのコラボを図ったツアーも企画する。将来的には空き家を民泊可能な場所にし、ニーズに合う企画ができるようにしていく。
	子育て支援	地域住民同士のつながりや子供の地域の大人たちとのつながりを強めるため、秋の運動会やクリスマスの時期などに子育て中の家族を中心として交流会や子育て相談会を実施して、次世代を担う子どもを育てる家族を応援する。
	サイクリングをしている人々の呼び込み	大島バーガー・たまげた丼・開発品の販売促進を図るため、駐輪設備やトイレ使用などでサイクリング客をサポートすることにより、多くの人を地域に呼び込む。
	地域間交流促進事業	よっちゃんれにひまわり連として参加、天王宮の夏祭り、八幡様の秋祭りに出店し盛り上げ、多世代間の交流機会を増やす。
神島	「えひめAI」の普及、利用促進	地域の水質浄化のため、毎月一次培養した「えひめAI」を各自治会に配布し、各自治会で二次培養したものを全戸に配布して利用してもらうとともに、公共施設等に活用してもらうなど、えひめAIの利用促進に努める。
	親子ふれあいサロン	幼稚園・保育園に通園していない幼児とその母親を対象に、母子のふれあい遊びの場を提供し、交流および情報交換をする場として活用する。
横江・美の浜	環境整備	春秋の2回、3地区合同で草取りや清掃活動を行うことで、住民のふれあいの場を作り、綺麗で住みよいまちを目指す。
神島外浦	花いっぱい運動	神島外浦・高島地区を花いっぱい運動を通して明るく温かさにあふれた地区にし、児童、保護者、地区住民が花植を通して交流する場ができる。
	神島外浦 環境整備草刈り隊（KK隊）	市道周辺の耕作放棄地や遍路道周辺の草刈り及び環境整備。
	神島外浦・やっこ行列保存会	子供やっこは月に一度、祭り月には4回の練習（やっこ行列）振付など。保存会を設け、神社祭礼時の行列参加（一般及び子供やっこ）をはじめ技術向上を図る。子供やっこは、運動会や敬老会、夏祭りでも披露する。大人やっこは神島神社の祭典行事の中で披露する。
高島	回漕店運営事業	定期船の乗降客の安全確保や切符販売、荷物の集荷等を行う回漕店業務を実施し、また島内の観光案内などを行うことで、地域住民の生活基盤である定期航路を維持していく。
	高島大運動会実施事業	自治会主催で行っていた運動会をまちづくり協議会主催として行うこととし、必要な物品を整備する。
	グラウンドゴルフ環境整備事業	グラウンドゴルフのできる環境を整備し、高齢者等が気軽に集まれる場づくりを行う。
	婆一ちゃんのショップ運営事業	頻繁に買い物に出ることができない高齢者たちが必要なものを買うことができるよう、毎月10日、20日、30日に食料品や日用品を笠岡の商店街から仕入れ、回漕店で販売する。商品の仕入れから販売までを地域住民自らの力で運営し、高齢者をはじめとする地域住民の利便性の向上と生活基盤の維持を図る。
	高島ホームページ作成	高島での行事や出来事など様々な情報を広く発信し、島外から高島を応援してくれる人を増やし、伝統行事の継続など活動を活性化する。
	王泊地区避難道整備事業	住民参加により避難道を整備することで、南海トラフ地震に備え、島内の主要道路が寸断されても安全に避難できる対策を講じる。
	観光開発活動	観光振興と島全体を活気づかせるため、高島の歴史跡を記載したマップや案内板を作成するとともに遊歩道を清掃し、観光客に散策してもらえる環境の整備を行う。
	蜜蜂の飼育管理事業	防風林として植えられたアカシヤの木の花粉を活用して蜜蜂を飼育し、特産品開発を図ります。
	定期便減便対策事業	地元で渡船事業を行っている渡船業者を利用して、定期航路のない時間帯で島民の希望する時間に、島民が希望する港まで送る。
飛島	島内交通運営活動	移動困難な高齢者等の移動手段を確保するため、島内で自治振興会運営の車両を運行し、地域住民が自立して住める環境整備を図る。
	デイサービス活動	機能維持向上トレーニングやサロンを開催し、島内の中老年の健康増進、老化防止及び引き籠もり防止を図る。また、参加促進のため、車による送迎も行う。
	イベント衣装検討活動	他の地域の郷土歴史衣装を参考にし、つばき祭りなどの際の貸出し用やスタッフの衣装を作製していく。飛島住民の気質である“おもてなし”活動を充実させることで、住民の連帯感の強化を図る。

地区名	活動名	活動概要
飛島	祈りの島 ～『縁を結ぶ』 椿の里～	島の地域資源を活用して、魅力の再発見と情報発信を行い、名所である恋人岬の整備やおもてなしランチの開発、高校生による飛島マップの作成を行うことで、若者と島の人との交流や島の魅力の再発見と観光振興を図り、地域住民が笑顔で暮らせる仕組みをつくる。
	ごんせい！ 飛島観光PR事業	毎年開催している「椿まつり」を自治会と高校と協働して開催することとし、若い人と準備をすすめ、住民のやる気、飛島の活性化につなげる。つばき油・つばきを使用したグッズ等を制作・販売する。
	飛島周遊道路景観維持事業	樹木の伐採等を行うことで、島内道路からの眺望等飛島の魅力を維持することにより、観光客の目を楽しませたり、島への愛着を醸成したりする。
	鳥獣害対策	毎日、午前中に島内のくくり罠の点検を実施する。 イノシシ捕獲時は猟友会に連絡し、捕獲サポート、処分に協力する。
白石島	白石島イノシシ対策活動	イノシシ対策部会の狩猟免許有資格者の指導のもと島内の箱罠などを維持・管理し、イノシシの捕獲を行うとともにイノシシ対策出前講座や島内新聞による啓蒙活動を実施し、島民のイノシシへの理解度を深め、白石島全体でのイノシシ対策を行っていく。
北木島	海岸等の一斉清掃事業	海岸線や海岸道路、山道の環境保全と地域住民間のきずなを深めるため、住民全員で一斉清掃を実施する。
	地域ぐるみの獣害対策	イノシシの被害に対し、地域で連携し情報共有を行い、島内に罠を設置し、捕獲・駆除を行う。
	老人見守り隊	高齢者や独居の方に安否確認の旗を立ててもらい、地域住民で分担して旗の見回り活動を実施する。高齢者が少しでも自宅で安心して暮らせるようにバックアップする。
	花いっぱい事業	島内の公園、道路沿い等の花壇やプランターに、四季の花の植栽することで、地域に彩りを添え、地域住民の気持ちが癒され、毎日を明るく過ごせる環境整備に努める。
	先進地視察	まちづくり先進地を視察研修し、過疎化高齢化対策や地域活性化の手法を学ぶ。
	楠回漕店業務	当番制で定期船の乗船切符の販売業務等を行い、高齢化が著しい楠地域の生活基盤である定期航路を維持する。
	自主防災・安心安全なまちづくり	災害に対して誰もが対処でき安心して暮らせるまちを目指すため、島内の避難場所の確認、避難訓練の実施、資機材の使用法の習得を行う。
集落ぐるみ獣害対策	近年著しく広がるイノシシ被害（農作物被害・生活環境被害）を軽減するため、防衛対策として防護柵の材料の運搬・設置作業・補助申請手続き等が困難な高齢者の代行を、捕獲対策として箱罠の作成及び維持管理を、協議会、地域住民及び農政水産課の協働で行う。	
真鍋島	ヨモギ団子の復活事業	ヨモギ摘みから団子作りまで、子ども達から高齢者まで、できるだけ大勢の人に参加してもらって、楽しい時を過ごしながら、地域の伝統的な食文化を継承する。子ども達と高齢者が一緒に携わることにより、高齢者に自分が島内で大切にされていると実感してもらおうとともに、島内の二つの地域、また世代を超えた住民感情の融和と一体感を醸成する。
	天神鼻重ね岩の修復事業	島のシンボルである天神鼻の重ね岩を保全することで、住民にとってなじみ深い景観を維持し、郷土への愛着心と誇りを育む。
	真鍋島自主防災事業	住民の防災意識を高めるために、夜間の避難訓練や避難マニュアル作り、患者役を設定した避難訓練、資機材を使用した訓練など、年ごとに様々な場面を想定した、防災訓練を実施する。
	なんでも屋スケッチ（助っ人）事業	公募によって登録された地域のボランティアが、一人暮らしの高齢者の日常生活の中での困りごとの手伝いを行い、いわば『孫の手』のような支援を行っていく。
	貯水槽のポウフラの駆除事業	農業用及び防火水槽にメダカを投入し、ポウフラを駆除して蚊の発生を抑え、衛生的な環境づくりに努める。
	モミジの植栽及び常緑樹の植栽事業	美しい島の景観を維持するために、紅葉や桜を植樹して観光スポットをつくる。 また、遊歩道沿いの草を防除するために、多種の常緑樹を植えて安定した森づくりを図る。（里山の修復及び保全）

地区名	活動名	活動概要
真鍋島	山道の整備と保全事業	島の山道散策の伝承と観光地化を推進するため、山道の草刈り・樹木の伐採を行う。前年実施が少なかった区域から整備する。
	真鍋島におけるニンニクの栽培と加工についての研究	ニンニクを島の特産品とし島の収益増進を図るため、加工品を開発し販売するための研究を行う。
	真鍋島の海の夕陽を見る	漁師しか見ることのできない海から見る夕陽を、住民、特に高齢者に鑑賞してもらい、島の良さを再確認してもらう。
	山道の整備・保全事業	島内全域の山道の草刈り、掃除と不用木の伐採、倒木の片付けと草枯らしの散布。平地から頂上への道に冬場枯れ葉がたまって滑りやすく、歩くのに危険であり清掃も実施する。活動成果の島内外への周知を強化する。（掲示板、インターネット等により）
	真鍋島フットパス事業ー真鍋島にあった!! ころのふるさと歴史とアートをめぐる島旅ー	島外に対し周知を図りつつ、1ターン希望者に対しての真鍋島の生活に関する情報を提供するとともに、ツアー実施によって住宅や仕事事情、島民との交流や子育てに関する懇談などにより詳細な島暮らしの魅力を体験的な活動を通して認知してもらい、定住につなげる。また他の島の子育て世帯が交流を持つ機会も船の便の関係、それぞれの仕事事情等でなかなか難しく、集まれる機会をもつ。
	世界とつながる真鍋島～英会話教室	外国人の来島者数が年々増加している真鍋島において、現状ではコミュニケーションをとれる人はほとんどいない。そこで、簡単な観光ガイドができるよう、島民を対象にしたガイド養成講座（月1回程度）を開催する。
真鍋島定住促進プロジェクト	地域活動の担い手不足や児童生徒数の減少に伴う学校存続の問題解決を図ることを目的に、1ターン希望者に対して真鍋島での生活に関する情報提供や、移住体験ツアー実施によって島暮らしの魅力をPRする等子育て世帯の定住促進事業を行う。	
六島	山道整備事業	水仙の小道の整備と大石山への危険箇所の整備、ならびに灯台下の遊歩道の危険箇所整備を行うことで、島の名所散策経路の保全と観光活性化を図る。
	インターンシップ事業	H25-27：島づくりの担い手育成として、六島の島づくりに関心のある大学生を受け入れ、観光客への対応サポートや、島の環境整備、空き家のゲストハウスとしての機能充実や高齢者の交流の場づくりといった島で最後まで暮らせるための事業づくりについての提言等をしてもらう。 H28：島の活性化に取り組むため、島小屋の利活用や地元産品の活性化を推進する。
	六島コミュニティスペース作りプロジェクト、地元の匠と共に空き家のリノベーション事業	湛江地区にコミュニティスペースを確保するため、有識者等と地区の現状と将来像を検証し、島内の匠を中心に空き家の再生を行う。また、地域住民への情報提供として新聞の発刊や見学会を行う。
	水仙植えるカムツアーからの六島移住物語	毎年行っている水仙植栽ツアー（体験）を継続的に実施するとともに、体験から移住につなげることを目的に、親子を対象にした宿泊を伴う「島暮らし体験」を行う。
	小さい島の子育てサロン、子育てを島で語ろう会	3年後に島の小学生が1人だけになる現状の中で、まちづくり協議会として島の暮らしやすさ等について意見交換をしたりする場づくりが必要と考え、「子育てサロン」「子育てを語ろう会」を開催する。
	六島くらしPR大作戦!	交流人口を「定住」に繋げる仕組みをつくるため、六島の1年365日の生活をPRするためのチラシ作りの講習会を行う。完成したチラシは島内外でPRする。
	高齢者による高齢者のための「高齢者サポーターズ」事業	島での生活を続けられるよう、日常生活の困りごとのサポートを行う「高齢者サポーターズ」を募集し、周知・講習・調整会議・管理体制の構築等を行う。
	六島の無農薬レモン栽培事業	島の耕作放棄地解消対策と島の新たな特産品づくりを目的に、無農薬レモンの栽培事業を行う。
	六島のとうだいへ「すいせん入学」事業	子どもを持った親子世代を対象に、六島の小学校日帰り体験入学や島の生活体験等をメニューにした取組みを行うことで、六島への移住につなげる。
	2022年六島灯台開基100周年記念プロジェクト	水仙植栽ボランティア事業「水仙植えるカムツアー」を開催するとともに、開花時には水仙見学ツアーを実施する。さらに、2022年11月に六島の灯台開基100周年を迎えるため、これに向けた記念事業の計画づくり、島内外の機運を高める取組みも併せて実施する。



地区名	活動名	活動概要
六島	灯台と共に100年～六島の現在・過去・未来～「島まるごと生活博物館」	六島灯台100周年の顕彰事業を行うことにより、島のシンボルとしての灯台や島の歴史を掘り下げ、地域を知ることによって島への誇りと愛着を強めると共に、100年の節目をチャンスと捉えて取り組みを内外へ広くアピールする。
	農業事始め（レモン・ハーブ栽培）	島の耕作放棄地解消対策の一環とし、耕作放棄地を切り開き、販売も視野に入れた収益性の高い事業展開を図る中で、新たにイノシシに強く、軽量、乾燥して日持ちもするハーブを島民を上げて栽培する。
	「六島の教科書」づくり～移住のススメ～	子育て世帯・地域おこし協力隊の誘致をはじめ、移住促進に取り組む中で、「慣例や風習」をはじめ、移住者にとって必要な情報をまとめ、よそ者が地域に入っていくやすくする。 島民も50人となり、高齢化と担い手不足。「六島の教科書」に、「島民図鑑」（仮称）のページを設け、島民の得意なことを「見える化」し、まちづくり協議会の活動に関わってもらう
	六島全島民ユースチューバー化計画	六島の定住促進を行うため、島民自らが情報発信を行い、島外との情報交流の活性化を図るとともに、通信環境の基礎的な知識を学ぶ講習会をそれぞれ開催する。
	六島オンライン未来塾	まちづくり協議会の事業全体を総括してもらうため、アドバイザーを呼び込む。毎月の定例会のみでなく、協議会の運営を活性化させる「六島オンライン未来塾」（計5回）を開催。そこで他地域の取組・知見を学び、協議会での具体的な事業展開や役割分担を明確にする。
	六島Sターン事業（週末島暮らし体験事業）	農業体験と移住体験を同時に出来るプログラム。レモンや既存のえんどう等の「農業」を島の方々に教わりながら、島の高齢者農業をサポートする。宿泊は島小屋を利用。土日を中心に作業を実施し、それ以外の日は島の農業者が管理する。
	「せとうち六島塾」の開催	島民向けの研修会 2回の「暮らし体験」の考え方・塾内容づくり勉強会 「せとうち六島塾」塾生募集（10名程度） 1回講座 島でのボランティア活動による島民との協働作業の実施 島講師1・・・六島の教科書づくりについて 2回講座 島の資源を活用した「暮らし体験」の実施 島講師2・・・ひじき・ワカメ等の資源利用について 3回講座 オクトーバーフェストでの実証実験 島講師3・・・島ビールの取り組みについて せとうち六島塾報告会